

## 高齢者生活実態調査（案）

### 1 調査実施の目的

介護保険法第117条第5項の規定に基づき、令和5年度に策定する福生市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（第9期）の基礎資料とするため、高齢者の生活状況、介護サービスの需要等を把握することを目的に実施する。

### 2 調査内容

国が示す手引きに従い、次の通り2種類の調査を実施する。

なお、調査結果については、地域包括ケア「見える化」システム（※）への登録が推奨されており、設問文や選択肢を独自に改変すると登録に支障が出ることから、調査項目については、国の示す様式の通りとする。

調査名	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査
調査内容	要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を調査し、地域の抱える課題を把握する。	在宅継続・就労継続など主として要介護者の客観的な状態を把握する。
調査対象	65歳以上の市民（無作為抽出） 約1,200人 要支援1、要支援2の市民 約500人	要介護1～要介護5の在宅の市民 約1,000人
設問数	62問	19問

（※）地域包括ケア「見える化」システム

都道府県、市町村における介護保険事業計画等の策定・実行を総合的に支援するシステムで、介護保険に関連する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が一本化されており、平成27年の本格稼働以降、誰でも閲覧できるシステム。

### 3 調査方法

調査期間：令和4年11月7日（月）～12月5日（月）（予定）

調査方法：郵送配布／郵送回収法

※在宅介護実態調査については、認定調査員の訪問時に回答を促す声掛け等を実施する。

【参考】前回のアンケート回収率（令和元年度実施）

調査の種類	配布数	有効回収数	有効回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,681	1,048	62.3%
在宅介護実態調査	972	476	49.0%
合計	2,653	1,524	57.4%